

主催: 自然災害研究協議会北海道地区

## 2017防災フォーラム・札幌

# 地盤の液状化による被害と被害軽減対策



写真 液状化地盤における住宅や建築物の被害(千葉大・中井名誉教授提供)

地震時に地盤の液状化が発生すると、地盤の支持力が低下し、戸建住宅や低層建物には、不同沈下または傾斜などの被害が発生する(写真左)。また、杭基礎の場合には、液状化による地盤の沈下に伴い、相対的に建物が浮き上がった状態となる(写真右)。

2011年東北地方太平洋沖地震における関東地方の液状化被害や過去に見られた北海道での液状化被害の状況を踏まえ、液状化による被害を軽減するための地盤や構造物の対策などを考える。

### プログラム

#### 1. 中井正一(千葉大学名誉教授)

##### 東日本大震災における千葉県での液状化被害とその対策

2011年東北地方太平洋沖地震において、関東地方(千葉県の湾岸地域や利根川周辺)で大きな地盤の液状化は発生し、地盤や構造物に大きな被害が見られた。液状化による被害の内容や特徴を整理するとともに、将来の地震に備え、ある地域の液状化被害低減対策例について述べる。

#### 2. 八木一善(岩田地崎建設・技術部次長)

##### 北海道における地盤液状化と火山灰質地盤の被害の特徴

1993年から2003年に、北海道では4回の大地震が発生し、液状化に起因する被害が多発した。従来は液状化しないと考えられていた火山灰質地盤(火山灰盛土や自然堆積の軽石)の液状化も多数認められ、火山性の堆積物が広く分布する北海道の液状化被害の特徴やその再液状化の事例について述べる。

### 日時・会場

平成30年2月19日(月)

14:00~16:00(13:30受付開始)

北海道大学工学部 A1-01会議室  
(札幌市北区北13条西8丁目)

### 申し込み先

下記mailおよびfaxにてお申し込みください。  
自然災害研究協議会北海道地区部会  
Mail: nds@eng.hokudai.ac.jp  
Fax: (011) 737-5449

### 問合せ先

北海道大学大学院工学研究院 飯場  
Mail: iiba-m@eng.hokudai.ac.jp  
Tel: (011) 706-6235